別記基金様式第10号

□消防団員 □水防団員	**休業援護金請求書**	請求回数	第　　回
		請求年月日	年　月　日

消防団員等公務災害補償等共済基金理事長　様 下記のとおり休業援護金を請求します。	請求者の住所　〒 ふりがな 氏　名

休業補償を行う市町村又は組合名	都道府県　市町村組合	事故発生日	年　月　日

請求日数等	自家営業の場合	年　月　日から 年　月　日まで	のうち　日 { 全部休業した日数　日 一部休業した日数　日
	勤務していた場合	年　月　日から 年　月　日まで	のうち　日 { 全部休業した日数　日 (全部休業した日に支払われた給与の総額 一部休業した日数　日 (一部休業した日に支払われた給与の総額

休業援護金の算式	全部休業した日	(A)　(補償基礎額)　円× 20/100 ＝　(円未満切捨)　円	(請求日数)　円×　日＝　円
		(B)　(補償基礎額)　円× 80/100 －　(労務に基づかない給与その他の業務上の収入日額)　円＝　(円未満切捨)　円	(請求日数)　円×　日＝　円
	一部休業した日	(C)　(補償基礎額)　円 －　(労務に基づく給与その他の業務上の収入日額)　円　×20/100＝　(円未満切捨)　円	(請求日数)　円×　日＝　円
		(D)　(補償基礎額)　円× 20/100 ×　時間/7.75時間＝　(円未満切捨)　円	(請求日数)　円×　日＝　円
休業援護金請求額		(A)～(D)の合計額　円	

送金先	振込み	振込先名 金融機関名	銀行・信金・信組　本店 農協・漁協　支店
		□普通預金　□当座預金	口座番号
		ふりがな 預金名義者	
	その他		

※補償基礎額	円	※受理	年　月　日
※休業期間及び日数	年　月　日から のうち　日 年　月　日まで	※送金	年　月　日
※支給額	円		

〔注意事項〕

1 ※印の欄は記入しないこと。また、該当する「□」には、レ印を記入すること。

2 「請求日数」の欄中「全部休業した日数」には、療養のため1日の全部にわたって休業し、給与その他の業務上の収入の全部を得ることができなかった日の日数を、「一部休業した日数」には、療養のため1日の一部(勤務していた者の場合は正規の勤務時間の一部)を休業したために、給与その他の業務上の収入が補償基礎額以下であった日の日数を記入すること。

3 「休業援護金の算式」の欄には、次に掲げる事由に応じ、それぞれの算式により計算した額を記入すること。

(1) 全部休業した日の場合

ア (A)は、1日の全部労働不能のため、すべての給与その他の業務上の収入を得ることができなかったとき、又は1日の全部労働不能にもかかわらず、給与その他の業務上の収入の一部を得ることができた場合でその額が補償基礎額の100分の60に満たないとき

イ (B)は、1日の全部労働不能にもかかわらず、給与その他の業務上の収入の一部を得ることができた場合でその額が補償基礎額の100分の60以上で、かつ、100分の80に満たないとき

(2) 一部休業した日の場合

ア (C)は、1日の一部が労働可能により、その労働に基づく給与その他の業務上の収入を得ることができた場合でその額が補償基礎額に満たないとき

イ (D)は、療養のため1日の全部休業する必要がないが、通院等のため、農業等の個人営業に従事することができなかったとき

4 この請求書に添付する書類

休業援護金の請求者が当該休業援護金の受領を市町村長等の職にある者に委任をする場合は、その委任状